

いなづま

ご挨拶

理事長 大倉 直

朝夕の秋風が心地よく、過ごしやすい時節となりました。組合員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。今年の夏は昨年同様の厳しい暑さになるとの事前予想もありましたが、六月〜八月までの函館の平均気温が昨年より〇・八度低い二十



啄木小公園から望む花火

撮影：伊東 照勝

二度となり、昨年ほどの酷暑ではなかったが、湿度の多い日が続き、蒸し暑さを感じた人は多かった夏だったと思います。
パリオリンピックが七月二十六日〜八月十一日まで開催され、日本代表選手団のメダル獲得数が金二十個、銀十二個、銅十三個と日本選手の大活躍でテレビに釘付け、毎日寝不足という方も多かったのではないのでしょうか？
第四回電気工事技能競技北海道大会が九月七日に開催され、当組合からは協同電気通信(株)所属の北村徳芳さんが出場しました。今年の課題は難しかったのか、参加選手十名中競技時間三時間で全員未

完成で十五分延長さらに十分延長と異例の事態となりました。北村さんは残念ながら未完成と練習の成果を十分に発揮できずに、全国大会に駒を進める事ができませんでした。北村さんと協同電気通信(株)さんには、この度、大会に参加して頂き心より深く感謝申し上げます。

最低賃金が全国平均で一〇五四円に決定となり、人手不足を背景とした人件費の高騰、ケープルを筆頭とした原材料価格の高騰、ガソリン代などが急激に値上がりしております。最近、価格転嫁という言葉をよく耳にしますが、四十六%の企業がコストの上昇に伴い価格転嫁(値上げ)を実施しているようです。また、函館市及び渡島管内の建築確認申請状況は二十四年上期(一〜六月)で四五九棟となり、過去最低だった前年同期五三四棟からさらに七十五棟(▲十四%)もの減少となり、年間千棟割れが現実味を帯びており、ピークだった九十六年の四〇四棟に比べ大幅に減少しております。このように我々電気業界も売上の増加を期待できない中、公共工事設計労務単価の二五三〇〇円をベースに取引価格の適正化が必要と考えます。お客さまも値上げには一定の理解をして頂ける時代でもあり、勇気を持って価格交渉に挑んでいきたいと思っております。

来年、第三十六回電気工業組合連合会全国大会北海道大会が二〇一〇年の函館開催から十五年振りに札幌で開催されます。道工組では実行委員会を立ち上げ、現在、準備を進めているところです。過去の大会同様、本大会を成功裏に導くために、札幌が中心となりますが、当組合の皆様にも力強いご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。

今年もあと三か月少々となり、組合の事業も大きな事故、災害も無く、順調に推移しております。

これから暮れの繁忙期に入ります。「無事故無災害」「安全施工」「車両安全運転」をこれまで以上に努めて頂きたくお願い申し上げます。

最後になりますが各組合員様の益々のご繁栄とご健勝を心よりご祈念申し上げます。挨拶とさせていただきます。

役員会だより

第一回役員会

六・五・八

- 一、経過報告
- 二、貸付報告・無し
- 三、各支部報告並びに提案事項
- 四、総務委員会事項

第二回役員会

六・五・二十九

- 一、経過報告
 - 二、貸付報告・無し
 - 三、各支部報告並びに提案事項
 - 四、総務委員会事項
 - 五、事業委員会事項
 - 六、その他
- 定期健康診断の実施結果について
 - 令和六年度(第七十六回)通常総会について
 - 道工組令和六年度総代会について
 - 第三回役員会及び北工連絡会並びに連絡協議会の開催について
 - 事務局職員の賞与の支給について
 - 二級引込線工事士・限定低圧計測器工事士認定講習・認定試験の開催結果について
 - イルミネーション工事決算報告について
 - 第二種電気工事士試験(学科)準備講習会の開催について
 - 二級引込線工事士安全技能講習(無墜落昇降柱法訓練)の実施について
 - 電設WEB代行入力業務について
 - 函館工業高校電気情報工学科生徒インターンシップ現場実習の受入について
 - 高圧検満工事について
 - 第四回電気工事技能競技北海道大会について
 - 能登半島地震に係る義援金の報告について
 - 引込線工事・計測器工事の単価改正について

- 二、貸付報告・無し
- 三、各支部報告並びに提案事項
- 四、総務委員会事項

- 一、経過報告・無し
- 二、貸付報告・無し
- 三、各支部報告並びに提案事項
- 四、総務委員会事項
- 五、事業委員会事項
- 六、その他

- 一、経過報告・無し
 - 二、貸付報告・無し
 - 三、各支部報告並びに提案事項
 - 四、総務委員会事項
 - 五、事業委員会事項
 - 六、その他
- 令和六年度(第七十六回)通常総会の開催結果について
 - 事務局職員の退職について
 - 第二種電気工事士試験(学科)準備講習会の開催結果について
 - 安全大会の開催について
 - 道工組親善ゴルフ大会について

組合行事

- 三、各支部報告並びに提案事項
各支部それぞれ支部会議を開催
- 四、総務委員会事項
(1) 第二十九回大レクリエーション大会の開催結果について
- (2) 令和六年度新規採用者について
- (3) 「いなづま」一五六号の発行について
- 五、事業委員会事項
(1) 二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習（無墜落昇降柱法訓練）の実施結果について
- (2) インターンシップの実施結果について
- (3) 第二種電気工事士試験（技能）準備講習会の開催結果について
- (4) 安全大会の開催結果について
- (5) 低圧検満工事合同安全パトロールについて
- (6) 港まつりへの参加結果について
- (7) 第一種電気工事士試験（学科）準備講習会の開催について
- (8) 低圧検満工事施工会社の公募について
- 六、その他
(1) 函館電協改革ワーキング委員会について
- (2) 第四回電気工事技能競技北海道大会について

- 3月25日 正副理事長・事務局長会議
- 27日 検満業者打合せ会議
- 全日 西部支部会議
- 28日 第三十六回全国大会実行委員会第一回部会長会議（オンライン会議）大倉理事長出席
- 4月1日 定期健康診断（組合二三三名受診）
- 3日
- 12日 青年部研修旅行（山口県）
- 14日

- 16日 北海道電力関連工事安全協議会道南配電部会定例協議会に伊東副理事長出席（北電NW道南統括支店）
- 全日 西部支部懇親会
- 22日 北部支部総会
- 24日 東部支部総会・観桜会
- 25日 道工業組合第一回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
- 全日 北電NW・道工業組合本部連絡協議会に大倉理事長・土谷副理事長出席（道電気会館）
- 全日 八雲支部総会
- 30日 正副理事長・事務局長会議
- 全日 検満業者打合せ会議
- 5月7日 組合期末監査
- 8日 第一回役員会
- 14日 第二種電気工事士（学科）受験準備講習会（ポリテクセンター）三名受講
- 15日 道工業組合監査（書面監査）土谷副理事長
- 16日 北海道中小企業団体中央会道南支部通常総会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
- 全日 江差支部会議
- 16日 道工業組合第二回役員会に土谷副理事長出席（オンライン会議）
- 全日 西部支部会議
- 21日 第一種電気工事士定期講習（函館市亀田交流プラザ）九十三名受講
- 22日 北部支部会議
- 23日 東部支部会議
- 全日 函館地区中小企業団体事務局長会通常総会に伊藤事務局長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
- 25日 渡島支部総会
- 全日 江差支部総会
- 27日 低圧検満工事合同安全パトロール（北電NW江差NW C一名・組合二名・施工会社一社）
- 29日 第二回役員会

- 全日 第七十六回通常総会（組合三階大会議室）本人出席四十八名
- 30日 函館国際観光コンベンション協会総会に大倉理事長出席（プレミアホテルCABIN PRESIDENT）函館
- 31日 検満業者打合せ会議
- 6月8日 青年部通常総会（組合三階大会議室）
- 11日 道工業組合第三回役員会に大倉理事長・土谷副理事長出席（ホテルモントレエーデルホフ札幌）
- 全日 道工業組合通常総代会に大倉理事長ほか総代八名・伊藤事務局長出席（ホテルモントレエーデルホフ札幌）
- 14日 第三回役員会
- 全日 北工連絡会・連絡協議会（組合会議室）北電二名・北電NW八名・組合九名出席
- 18日 大レクリエーション大会担当特別委員会
- 全日 第一回青年部例会
- 19日 二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習（組合会議室・北電資材管理跡地）一〇一名受講
- 全日 港まつり担当特別委員会
- 28日 検満業者打合せ会議
- 7月3日 函館工業高校インターンシップ現場実習（組合三事業所、生徒三十七名）
- 5日 道工業組合全道事務局長会議に伊藤事務局長出席（オンライン会議）
- 6日 第二種電気工事士（技能）受験準備講習会（ポリテクセンター）四名受講
- 7日 第二十九回大レクリエーション大会（グリーンピア大沼）二六一名参加
- 10日 函館港まつり「ワッショイはこだて」参加団体責任者会議に外山青年部副部長・伊藤事務局長出席（サンリフレ）
- 11日 道工業組合臨時役員会（書面開催）大倉理事長・土谷副理事長
- 17日 検満業者打合せ会議
- 19日 建設業労働災害防止協会北海道支部函館分

- 全日 会幹事に大倉理事長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
- 全日 建設業労働災害防止協会北海道支部函館分会通常総会に大倉理事長出席（ホテル函館ロイヤルシーサイド）
- 23日 安全大会（組合会議室 77名出席）
- 26日 北電NW・組合低圧検測工事合同安全パトロール（北電NW二名・組合二名・施工者四社）
- 全日 江差支部安全大会（北電江差ネットワーク センター 12名出席）
- 全日 江差支部会議
- 全日 第二回青年部例会
- 30日 福島支部安全大会（北電福島ネットワーク センター 18名出席）
- 全日 検測業者打合せ会議
- 8月2日 函館港まつり「ワッショイはこだて」(二五名参加)
- 6日 八雲支部安全大会（北電八雲ネットワーク センター 18名出席）
- 7日 正副理事長・事務局長会議
- 21日 第四回役員会
- 27日 電気工事技能競技北海道大会壮行会（協同電気通信 12名出席）
- 29日 検測業者打合せ会議
- 30日 第二十一回道工業組合親善ゴルフ倶楽部交流戦（札幌ゴルフ倶楽部由仁コース 18名参加）
- 9月7日 第四回電気工事技能協会北海道大会（北海道立札幌高等技術専門学院 1名出場 22名参加）

第七十六回 通常総会開催

懸案事項であった駐車スペースの問題が近隣の駐車場を借りることで解消されたことから、第七十六回通常総会が組合会館を会場として、令和六年五月二十九日（水）に開催されました。出席状況は本人出席が四十八名、委任状出席八十七名、未回答二十名、欠席九名でありました。



総会当日、午後一時三十分、伊藤事務局長より開会宣言、大倉理事長の挨拶の後、北興通信(株)古川達也氏（北部支部）を議長に選出し議案の審議に入りました。

提出した議案については、

第一号議案

令和五年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分(案)について

第二号議案

令和六年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について

第三号議案

令和六年度役員報酬について

第四号議案

令和六年度組合借入金残高の最高限度額の決定について

第五号議案

令和六年度一組員に対する貸付け（手形の割引を含む。）又は一組員のためにする債務保証の最高限度額の決定について

第六号議案

北海道電気工業事業工業組合総代及び推薦委員の選出について

を上程し、第一号から第六号議案まで、事務局より内容説明の後、審議され、原案のとおり可決されました。全ての議事が終了し、午後二時十分、議長は閉会を宣言し令和六年度通常総会は終了しました。

決算整理仕訳を現在の方式に改めた平成二十三年以降で、経常利益は過去最低となりました。これは、住宅価格の高騰から、新築住宅着工数が減少、つまり、引込線工事や計測器工事の減少によるところが要因として挙げられます。



偏った収入源に依拠する財務体質から、函館市の委託業務のほかに、より多彩な収入源を掘り起こし収益の改善を図ることで組合員へのより多彩なサービスの提供へ繋げることが出来るよう努めて参ります。

第二十九回大レクリエーション大会

さる七月七日（七夕）、第二十九回大レクリエーション大会がグリーンピア大沼にて開催されました。青年部では、六月例会にて各担当委員会に分かれて、競技や司会進行等の打ち合わせし、大レクリエーション大会がスムーズに進行出来るように話し合いを行いました。

開催当日は、あいにくの雨となり、急遽屋内体育館で開催することとなりました。屋外での開催を考えていたため、朝一番でテントの移動や会場設営等の準備作業を青年部・青年部OBのご協力のもと、スムーズに行うことが出来ました。

前回体育館で実施したのが令和元年の第二十七回大会でコロナウイルス感染症で中止していた期間を含めると五年ぶりの体育館の実施ということもあり、五年前に参加していた、青年部を中心に、段取りし案内通り十時の開催時間に間に合いました。



り、大倉理事長の挨拶、ご来賓の北海道電力ネットワーク(株)南統括支店中村支店長からご挨拶を頂戴した後、全員でラジオ体操を行い体をほぐしてから競技の開催となりました。まず始めに参加者全員による『じゃんけん大会』から始まり『支部対抗リレー』、大人になり久しぶりに縄跳びをするとこんなにも体が言うことを聞かなくなるんだと実感。『ぐるぐる障害物競走』、大人や子どもが混合し子ども達が大人顔負けの走りを見せてくれました。『紅白玉入れ』、子ども限定の競技となり両チーム一生懸命紅白の玉を投げていました。『椅子取りゲーム』、女性限定の競技になり、なかなか白熱した競技になりました。『子どもリレー』、子ども達が頑張っている姿を見てとてもほっこりしました。

アトラクションは屋内の実施だったため『サイバーホイール』のみ会議室で子ども達に遊んでもらいました。会議室が狭く子ども達には少し物足りなかつたかもしれませんが楽しんで遊んでいました。

食事では、去年に引き続き北斗市久根別中華料理



『香港』に協力お願いして、焼きおにぎり二個、ハンバーグ、エビフライ、唐揚げなど盛り沢山のランチプレートを提供して頂きました。特にお子さん達に大変好評だったと聞いております。

今年、青年部OBによる、縁日を出して頂き子ども達が行列を作るほど大好評でした。全ての競技が終了し、閉会式では、参加者全員で輪になり栄光の架橋を合唱し、大会委員長の土谷副理事長より北海道電力NW、電材およびメーカー各社、その他協賛していただいた関係各社に対してのお礼と青年部への労いの言葉が述べられ、大盛況のうちに今大会は終了しました。

今年七夕ということもあり時間を短縮しての開催となり、競技進行に多少不備もありましたが、全体を通して参加された皆様には楽しく過ごしていただけたのではないかと思います。来年度はまた、今大会の反省点を踏まえて競技内容やアトラクション内容をブラッシュアップし、より皆様に楽しんでいただける大会にできるよう、青年部一丸となって取り組んでまいります。



函館地方電気工事協同組合 青年部
副部長 外山 尋久

函館港まつり「ワッヰンヨイはじだて」



令和六年八月二日、開港一六五周年函館港まつりワッヰンヨイはこだて十字街・松風コースに当組合は皆様へおなじみの電線マン音頭で参加いたしました。今年度は、新型コロナウイルスの規制緩和をした昨年度よりパレード自体の参加団体数も多く、当組合としても昨年同様、多数の組合員の皆様の参加をいただきました。

今年度は主催団体の審査が無く、どれだけ参加いただいた皆様と楽しんで盛り上げられるかと考え、山車づくりにおいても新しく手を加えてみたり、試行錯誤して当日まで悩み最高のものを作り上げていこうと青年部長を中心に山車づくりから盛り上がりつつありました。合言葉は常に「参加していただいた方に楽しんでもらうには自分たちから楽しもう」であり、青年部員の仲間一同山車作りから祭りを楽しみなが作成しました。その山車も八月二日当日になるまでの二日間、青年部員一同で朝から夜まで汗をかき、いろいろなアイデアを出しながら最高のものを作り上げようという気持ちを胸に頑張って作成しました。その気持ちも実り、当日の参加は多数の方が参加いただけて「自分たちの思いって伝わるんだなあ」と実感しました。

パレード当日十八時には参加者皆様に集合していただき、空腹はおにぎりで満たし、喉はアルコールで潤し、出発準備を整え、パレードの開始をワクワクしながら待っていました。いよいよパレード開始の時が来て電線マン音頭が鳴り響く中、スピーカーから伝わってくる躍動感が参加者に伝わっていき最高潮のテ



ンションを全員と味わうことが出来ました。

作並青年部長によるマイクパフォーマンスから始まった今年のパレードは電線マンがハッピーの参加者を引き連れ、煌々と光る山車を先頭に沿道の皆様へパフォーマンスが出来ました。

今年度は昨年よりも沿道の方々も増え、声援をたくさんいただき、駅前通りに差し掛かるころには盛り上がり最高潮になりメインコースもみんなで一生涯懸命に踊ったのだと思っております。

最後の最後まで楽しめる工夫をまた新しく考えて、踊っている仲間、そして沿道の方々をもっと巻き込んでパレードが出来ればもっと楽しんでいただけるのではないかと思います今後にもつなげていきたいと思えます。

パレード後、ロイヤルホテルで直会があり、こちらも山車作りから同様に同じことを考えて余興を楽しいものにしてしようとアイデアを出し合っていました。直会も無事楽しんでいただき今年も怪我無く皆様の笑顔がたくさん見れたパレードになったのではないかと思います。

「また参加したい」という言葉をもっと増やせるように来年も一から企画できればと思います。最後になりますがご参加いただいた組合員とそのご家族の皆様、また、ご協賛いただきました電材問屋各社様、メーカー様各位に紙上をお借りいたしました厚く御礼を申し上げます。

函館地方電気工事協同組合 青年部
副部長 越田 恭平



令和六年度 安全大会

今年度も経済産業省が主唱する、八月の『電気使用安全月間』に合わせ、組合管内各地で安全大会が開催されました。

函館本部での安全大会では、来賓の北海道電力ネットワーク(株)道南統括支店の及川配電工事グループリーダーより挨拶を頂戴し、安全講話では、谷口特定社会保険労務士が『電気工事とアスベストの関わり』と題して、また、北電ネットワーク(株)道南統括支店の木村配電工事グループ副長からは事故事例等を中心とした『安全について』をそれぞれご講話いただきました。大会の最後に青年部の五十嵐洋輔氏(㈱五稜郭カスガ)が安全宣言を行い、函館本部の安全大会が閉会しました。



また、江差支部は七月二十六日(十二名)、福島支部は七月三十日(八名)、八雲支部は八月六日(十八名)に各地区の北海道電力ネットワークセンターにおいて開催され、今年度の安全大会は終了しました。

安全大会を開催する本来の目的やその意義は組合員企業が『安全で健康な職場』を確保すること、すなわち若者が『働きがい』を持てる業界であるということ、また、管理する側は『働く人を守る』を誓う、このことを誓う場であると思っております。若年層の人材不足は我々、電気工業業界に限ったことではありませんが、若手入職者にとって、今よりもっと魅力的な業界となるよう安全大会の意義を改めて考える今年度の電気使用安全月間となりました。



函館工業高校電気情報工学科 インターンシップ

平成十五年、職業学科の生徒に対し、勤労観や社会性の育成に役立てるため、また生徒に現場を経験させる目的で、行政機関や経済団体、地域の事業所により構成される推進会議が推し進め、当組合へ函館工業高校からインターンシップの受け入れ要請があり、現場実習の受け入れを開始して以来二十年が経過しました。

函館工業高校は、令和二年、電気科と情報技術科が統合され電気情報工学科として新学科となり、当函館管内では、純然たる電気に携わっていく若手人材が少子化も相まって、著しい減少傾向にあります。

当組合としては、インターンシップに協力していくことで電気工業界を担う人材育成に寄与することが目的でありましたが、インターンシップを通じては離函していく若者のマインドを変えられていないのが現状です。

さて、今年度のインターンシップは、七月三日を安全講話と知内発電所等の見学実習、七月四日～五日を現場実習という日程で実施されました。

電気情報工学科二年生三十七名中電気コース十五名を北電や北電ネットワーク、その他の事業所として、当組合に振り分けられることとなり、三社の組合員企業にご協力いただきました。ご協力いただきました組合員の皆さまには誌上をお借りして厚く御礼申し上げます。

現在の函館工業高校のこのインターンシップへの取り組みの姿勢と組合員の思いや本来の目的との間に大きな乖離があると感じています。儀礼的に実施していく部分と組合員の利益に叶う部分を分離して、組合として人材を当業界に振り向ける方策を組合員のためにするサービスとして検討していきたいと考えております。

- 協力頂いた組合員
- 大倉電気株式会社
- 日東電気工事株式会社
- 協同電気通信株式会社

二級引込線工事士・低圧計測器工事士安全技能講習 〔無墜落昇降柱法訓練〕

二級引込線工事士・低圧計測器工事士の安全技能講習が令和六年六月十九日に北電ネットワーク(株)道南統括支店配電工事グループ様のご協力のもと座学を組合会議室、実技は北電資材管理跡地を会場として開催されました。受講者は一〇一名でした。

座学では、今回から当組合理事でシマデン産業(株)中島康弘社長に講師を務めていただき、引込線工事士運用要領についての講義を行っていただきました。また、北電ネットワーク様からは、安全に関する事項を総括的な内容で講義いただき、特にスマートメーターのセキュリティ確保について、より深く認識していただきたいとお話をいただきました。

平成二十五年の要領改正時に誕生した、計測器工事のみ施工可能な低圧計測器工事士も運用開始からしばらくは認定者がおられませんでしたが、近年の施工者の高齢化により本年四月現在十四名の認定者があり、資格制度の認知度の高まりを感じるとともに、業界の高齢化率の高まりも改めて感じております。今後引込線工事を施工しない方、あるいは他の方に依頼できる方は計測器工事士へ移行されることをご検討下さい。実技では北電ネットワーク様のデモンストラシヨ



ンの後に各班に分かれて無墜落昇降柱訓練を実施いたしました。すでにフルハーネスの着用が義務付けられてから三年目に入っており、多くの受講者はその取り扱いには慣れてきており概ねスムーズに訓練ができました。また、近年の要領改正でスマートメーターの取り扱いについて強化することとなり、主に新規資格取得者に対し、動作ランプや通信ランプの点滅の種類が示す意味等、組合伊東副理事長よりご指導いただきました。今回ご多用中の中、講師を務めて下さいました北電ネットワーク(株)道南統括支店配電工事グループの皆様には紙上を借りてお礼申し上げます。

お悔やみ

令和六年
五月十五日
五月二十五日
八月二十四日

(株)ふじてん代表者ご令室
佐藤清子殿ご逝去
(株)繁田電工代表者ご令室
繁田ルリコ殿ご逝去
(有)清電工代表者ご令室
清ルリ子殿ご逝去

組合員の異動

◎ 代表者の変更 (新) (旧)

一、(株)北弘電社函館支社 田中 政実 川瀬 晋介
函館支社長
一、北海電気工事(株) 小栗 得一 丹野 聡
函館支店長
一、(株)東栄電気工業 代表取締役 嶋村久美子 斉藤 靖雄

◎ 脱退

一、青函電気(株) 令和六年三月三十一日
一、(有)古浦電機商会 令和六年四月五日
一、(有)渡部電気工業 令和六年五月二十日

西部支部研修旅行

長いコロナ禍に耐え忍ぶ年月が過ぎ、やっと動き出すことの出来た支部の旅行だ。いろいろ行き先を考えただがやはり时期的に寒いところから暖かい所への思いから行き先は沖縄に決定した。

三月七日函館空港から羽田経由で那覇空港へ飛ぶ。到着の時の印象は思った程暖かくないなと感じた。イメージでは、結構暖かく真つ青な空を思い描いていたのだが空港からバスで二十分くらいの最初の見学地であるウミカジテラスというビーチで景色を楽しみながらおしゃべりなショッピングを見学するつもりが歩き出してもまもなく土砂降りの雨。やむなくすぐ近くのカフェで叔父さん達がビールを飲みながら雨宿り。空は厚い雲で、海はグレーだが雨宿りの中、話は弾む。傘を持っていなかったたので駐車場まで歩いて戻れず、運転手さんに電話してカフェ前まで無理言って迎かえに来てもらう。ここでの思い出ワードは『土砂降りビール』。

そこから国際通りの街中を通過して一泊目のホテルへ向かいチェックインする。ホテルから歩いて賑やかな国際通りに連なる店を見ながら夕食会場へ向かう。

そこはあぐり豚のしゃぶしゃぶの夕食と島唄ライブの店だ。結構大きな板張りの座敷で大勢の団体客でいっぱいだった。店の名前が『とうばらーま』と書き沖繩八重山地方の民



謡の事らしいのだが、正確にどの様に発音するのか聞くの忘れた。しゃぶしゃぶも美味しくお酒も進んだ頃合いをみて舞台の上ではライブが始まる。三線(さんしん)を持った女性ボーカルとサイドに伴奏である太鼓などを操る男性の二人で何曲か披露する。それこそ沖縄っぽい地元の歌の他、中には私達が知っている歌や曲も交えて、観光客が盛り上がるよう構成がうまく出来ている。終盤の方はお約束である舞台上で伴奏に合わせてお客さんが踊るという流れで大盛り上がり。エンディングだ。ここでの思い出ワードは『しゃぶしゃぶライブ』。夕食の後はメンバーそれぞれで少しでも沖縄経済に貢献すべく、国際通りの中へ向かい、この日のプログラムは完了となる。

次の日は「かりゆしビーチ」でグラスボートの乗船体験だ。現場に着くと海に白波が立ち、船が出るかどうか微妙なところと出ても酔いの心配もであったが、なんとか揺れながらも前浜に出ることが出来た。ガラス張りの船底から海底を見ると最初はあまり魚が見えなかったが、そこは観光地。お客さんが餌を蒔くといろいろな魚が集まってくる。やはり日本有数の観光地ではおもてなしの心が魚にもあるようだ。この後沖縄フルーツランドで昼食をとる。これを書いている時点で食べたのが沖縄そばだったのかソーキそばだったのか思い出せない。(二つの違いはネットでググって下さい) 初めて食べたのだが美味かった記憶はある。

午後からは美ら水族館を見学しその後琉球村でシーサーの絵付け体験をする。叔父さん達数人が見本を見ながら真剣に真つ白いシーサーに色付けをしている姿は普段見られる物ではない。完成したシーサーは見本に忠実な物、オリジナル性全開の物、完全失敗(?)した物などいろいろ。ちなみに失敗した作品を『見本品の中に置いてきたぜ』というワイルドな人もいたという噂も。ここでの思い出ワードは『色付け楽しーサー』。琉球村を後にして二日目の宿泊地恩納村のホテルへチェックイン。ホテルについての第一印象は寒い!。思わず部屋の暖房のスイッチを入れた。ホテルはビーチに面した完全リゾートホテルで夕食はホテルのレストランでバーベキューバイキングを堪能。夕食後、もう少し元気の出る飲み物を入れたいと思っ

たが近くには店は無く、歩いて三十分かかるこの事でやむなくホテル内で完結。プライベートプール前のステージではライブをやっていたが、寒くて観客はホテルの中のテラスから見ていて、歌っている方も見るからにブルッていた。ここの思い出ワードは「リゾートめっちゃ寒い」。こうして二日目無事完了。

最終日は午前中が観光時間で「おきなわワールド」というテーマパークを見学。玉泉洞という見応えのある鍾乳石の洞窟見学とエイサーショーを楽しむ。午後二時に那覇空港を立ち羽田経由で午後六時半に函館に到着。支部旅行プログラムは終了し支部長はほととす。今回は普段なかなか接する機会がない若い方が初めて旅行に参加されて、少数ではあったが本当に懇親を深めることができた良い旅行だと感じている。旅行中からすでに来年の旅行案もちらほら出ていて支部長また考え悩む。「さて、どこへ行こっかなあ〜」

西部支部支部長 高井 秀昭

渡島支部研修旅行

渡島支部はこの度、令和六年三月一日〜三月三日にて二泊三日の支部研修旅行を開催いたしました。

コロナウィルス感染症が蔓延する前の二〇一八年より六年ぶりとなり、参加人数十名と前回の開催より若干少なくはありましたが、研修旅行での親睦事業がし



ばらく開催出来ていなかったのが大変嬉しく思います。昨年の十一月に行った支部会議にて開催時期や旅行先などの希望を募り、関西方面への希望が多かったため今回は兵庫・大阪への旅先にて企画し開催の運びとなりました。

初日の移動は函館空港より羽田経由、伊丹空港着となっており一三三〇頃には現地空港へ到着の予定です。

飛行機に乗り込み座席についてからヘッドホンで音楽を聞いていたのですが、しばらくして『ん？飛ばない？』出発予定の時刻を二十分も過ぎてても滑走路にさえ向かわない様子に気が付きました。ヘッドホンで気が付きませんでした。エンジントラブルにより出発時刻が一時遅れるとの機内アナウンスが。このトラブルで羽田での乗り継ぎも遅れ、初日の旅程が全体的に大幅にずれ込み、今回の観光の目玉の一つであった姫路城の見学が入館時間に間に合わないという事になってしまいました。

非常に残念ではありましたが仕方なく現地のバスガイドさんと相談し、宿泊先の有馬温泉は日本三古湯のひとつでもあり太閤・豊臣秀吉の銅像や古い町並みなど、観光やお土産の購入が出来る所があるということでホテル周辺の温泉街を散策し、少し早めにホテルに入ることにしました。

夜はホテルで美味しい食事とお酒をいただき盛り上がった後に、有馬温泉の山中の真つ暗な中に数件だけあるという交流の場に出向きさらに親睦を深めつつ有



馬の夜はふけていききました。

二日目はホテルを出発し、まずは先ずは六甲有馬ロープウェイで六甲山の展望台に登りゴンドラから望む雄大な自然と、山頂から広がる神戸・大阪の眺望を楽しみました。天気も良く最高の景色でした。

その後はバス移動にて山頂駅から日本一の酒どころ灘五郷と言われる地域にある酒蔵の見学をへて大阪の道頓堀に向かいます。菊正宗記念館・白鶴酒造資料館では美味しいお酒の試飲で午前中からお酒は飲めるという贅沢な時間を過ごさせていただき、次の目的地の道頓堀へ向かいます。

二日目のメインであります道頓堀の散策となればグランド花月で吉本お笑いライブ観覧です。コロナが五類に移行してから、外国人の観光客の戻った道頓堀は大半が外国籍の人ではないかというような賑わいで肩と肩がぶつかる人込みを歩いているだけで人酔いしそうな程でした。

お笑いのライブは前に一度見たことがあります、なんばグランド花月の近い席でのお笑いライブはなかなか見る機会がないので非常に楽しみでした。

実際にテレビで良く見る芸人さんのネタや漫才はすばらしく、想像していた以上に面白くテレビでよく見る若手芸人さん、大ベテランの西川きよしさん、ザ・ぼんちさん、からの吉本新喜劇とあつという間の大爆笑のステージでした。

食事以降は自由行動として『みなみの夜』は各自そ



れぞれに楽しみ、あつという間に二日目の夜は過ぎて行きました。

最終日は移動のみで伊丹空港からの直工便で遅れもなく無事に函館への帰路につきました。(空港への送迎バスに携帯電話を忘れた人がいて少しだけ騒ぎになりましたが無事に戻って良かったです(笑))

旅行中は天候にも恵まれ、往路の飛行機の遅れ以外は怪我などの大きなトラブルもなく無事に終了することが出来ました。参加された皆さん私のつたない企画と幹事にご協力いただき本当にありがとうございます。楽しんでいただけたでしょうか？

また次回、親睦事業として研修旅行を企画、開催したいと思いますので今回参加出来なかった方々もふまえ是非ご参加くださいますようお願いいたします。

渡島支部支部長 中野 英

就任ご挨拶



北海道電力ネットワーク株式会社
道南統括支店長
中村 信吾

函館地方電気工事協同組合員の皆さまにおかれましては、日頃より電力の安定供給をはじめとする弊社の事業活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

私事で恐縮ですが、本年六月十四日付の人事異動により、道南統括支店長として着任いたしました。会社生活の長くは用地業務(送電・変電・通信設備用地の取得・管理)および立地業務(発電設備用地取得・管理、地域対応)に従事しており、現業機関である支店における業務に関わるのは二十数年振りのこととなります。また、道南(旧函館)支店管内は初めての勤務となります。何かと貴組合関係者の皆さまに教を乞う機会もあろうかと存じますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨今の電気事業を取り巻く社会環境の変化は著しく、支店における業務のあり方も法令改正や業務効率化の進展に伴い、かつてないスピードで様々な見直しが進められていることを日々改めて実感しているところですが、まずは私どもの本業であります地域の皆様に安定的に電気をお届けすることを最優先の課題と認識し、その役目をしっかりと果たして参りたいと考えております。

他方、仕事以外の面でも、歴史と伝統ある函館市に住まうこととなり、特色ある街並みが連なる一方で豊かな自然にも囲まれた当地で、充実したプライベートの時間が過ごせるのではないかと大いに期待しているところです。

さて、前述した電力事業にかかわる環境変化の変遷を改めて振り返りますと、二〇一一年の東日本大震災後に生じた電力需給の逼迫などを契機に取り進められた「電力システム改革」がひととき大きな出来事であったものと認識しております。

これにより「①二〇一五年 電力広域的運営推進機関の創設」、「②二〇一六年 小売り全面自由化」、「③二〇二〇年 送配電部門の法的分離」の3段階に分けて、電力事業のあり方が抜本的に見直されるに至りました。

弊社は、③の送配電部門の法的分離によって、北海道電力株式会社を分社化する形で設立されたわけですが、一般送配電事業者として、これまで以上に、中立性および公平性の確保に留意しながら効率的な経営に資するよう業務運営を行っております。

二〇二二年度からは、当社収益の根幹である託送料金に関しまして、新たな制度(レベニューキャップ制度)が導入され、弊社において、二〇二七年度に至る5力年間にわたる事業計画を公表いたしました。

二〇二三年四月にはこれらの課題に適切かつ効率的に対応すべく現業機関を中心とした組織の見直しを行ったところですが、新たな体制の中で、今後は当該事業計画に沿って、掲示した諸課題(持続可能な送配電設備の構築、経営基盤の強化、ESGに関する取り組み)にしっかりと取り組んで参りたいと考えております。

同時に当該事業計画に掲げた課題は多岐にわたるものであり、お客さまへの供給工事や停電事故対応、そ

の他既存の電気工作物にかかる保守管理などに関しては、貴組合をはじめ、多くの関係者の皆さまとの適切な連携が欠かせないものと考えておりますので、引き続きご協力を賜りたくお願ひ申し上げます。

社内外の関係者との業務連携においては、コロナ禍や事業環境の変化に伴い非対面による業務連携が拡大する傾向にあり、そのことについては、時代の変化に合わせて業務のあり方を適宜、見直ししてきた当然の結果と受け止めているところです。

その反面、電気を送る、受け取る行為が実体のある「現地・現物」で行われているものであることを踏まえ、それを支える関係者間において、直接かつ適切なコミュニケーションを図っていくことが大切ではないかと感じているところです。

貴組合関係者の皆さまとは、業務連携に限らず各種行事等でもご一緒させていただく機会がございますが、引き続き顔が見える形での業務連携などの機会を大切にしながら日々の業務を務めて参りたいと考えておりますので、この点につきましてもよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、貴組合関係者の皆様におかれましては、安全確保・健康を維持した中で、弊社と一体になって「電気を安全・安心してお客さまにお届けする」という貴組合の目指すところを達成できますことを、ご祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

新職員の紹介



石塚 太陽

この度、函館地方電気工事協同組合の組合事務所勤務かせて頂く事になりました、石塚太陽(いしづかたいよう)と申します。

三月に大原学園函館校の医療事務学課を卒業し、前職では医療事務員として働いておりました。初めに自己紹介をさせていただきます。生まれは函館で育ちは福島県の郡山市で育ちました。東日本大震災の影響で小学生の時に函館に戻ってきました。

私の趣味はドライブをすることです。普段から運転しており、周りの景色を見ながら運転することが好きです。特技はバスケットボールです。小学生の頃から今現在も続けています。仕事終わりにや休日はよく函館アリーナや小学校を借りてバスケットボールをしています。

私が主に担当する業務は資材管理業務です。前職で資材管理の業務を経験しておりましたが、病院で扱う資材とは異なる資材を扱うので早く資材の名前を覚えられるよう努力します。

これから組合事務局で働かせていただく中で組合員の方々と、事務局の方々に迷惑をかけてしまうことがあると思いますが報告・連絡・相談を徹底し、一日でも早く一人前になれるように努力してまいります。組合では仕事のほかに楽しそうなレクリエーションがあるそうなので積極的に参加していきたいと思いません。

まだ社会人一年目ですのでわからないことが多々あると思いますが一日一日を大切にしてください。と学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

■今月の表紙について

『啄木小公園から望む花火』
函館市日乃出町にある啄木小公園は、組合事務所からもほど近く、函館市民には馴染みの深い、詩人石川啄木を偲んで建立されました。

現在、小公園として整備されていますが、かつてはそこは砂丘であって、ハマナスが咲いており、啄木が好んで散歩したと言われており、歌集「一握の砂」に「砂山の 砂に腹這ひ初恋の いたみを遠く おもひ日づる日」と歌われています。

この啄木の座像は、一九五八年（昭和三十三年）、彫刻家である本郷新氏によって製作されたもので、詩

集「あこがれ」を左手に持ち、もの思いにふける様子の石川啄木が表現されています。座像の下には、「潮かおる 北の浜辺の 砂山の かの浜薔薇（ハマナス）よ 今年も咲けるや」の歌が刻まれており、砂山という表現が大森浜を連想させます。

啄木は、一九〇七年（明治四十年）五月から同年の九月まで函館には四か月余りしか滞在しておりませんでした。その間、弥生尋常小学校の代用教員となったり、函館日日新聞の記者となったり、離れて暮らしていた妻子を函館に呼び寄せたり、一九一二年（明治四十五年）、二十六歳の若さでこの世を去る短い人生の中で、最も充実した時間を過ごしたと言われています。

充実した生活の中で、啄木が来函して三カ月が経った八月二十五日に発生した大火で小学校も新聞社も焼失してしまったことから、生活の糧を失い、函館を去ることとなってしまいました。

啄木小公園に隣接した土方・啄木浪漫館が老朽化のため、今年十月三十一日に閉館することとなりました。残念なニュースではありますが、これを機会に函館を愛した詩人に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

花火を見つめるような啄木を、今回も伊東副理事長に撮影していただきました。

編集後記

『いなづま編集後記における暑さの言及』

平成十六年八月号「今年はずいぶん夏になってしまいました。函館でも」。平成十七年九月号「例年に無く暑い日が続いた七月、八月でした」。平成十八年九月号「：函館地方は猛暑に近かった」。平成二十年十月号「猛暑の日本列島の夏もやっと終わりととなり」。他にも平成二十三年九月号、平成二十四年九月号、平成二十六年九月号など夏の暑さに関して過去の編集後記の中で先輩方は触れている。これらの文章は単に時候の挨拶風としてでは無く実際の当時の肌感を書かれていると感じ取ることができる。それと共にその中の原稿の一部には暑さが景気を押し上げていると記された回もあり、楽観とまでは行かないまでも、暑さの推移とそれにとまった経済の動きの様子を見てい

く的な印象がある。

しかし、昨今のこの全世界的猛暑はやはり問題だと思ふ。日本について言えば、かつてない程の危機的な高い気温が記録され、ゲリラ豪雨など気象への影響が見受けられ、農作物・水産物への影響を受けていることが実感としてわかる。また人的な面では熱中症が増え、人々の様々な行動が制約されつつある。学校現場においては子ども達の運動の制限や、私達の業界周辺でも熱中症警報などを指針として現場における作業のスケジュールの見直しや中止が起ころうる。またそれぞれの事業所において作業員の命を守るため、その対策にかかるコストの増加など気温上昇におけるデメリットが目立つようになってきていると感じている。

たしかにエアコンを設置する工事が増えたり、清涼飲料水が売れたりなど一分野では数字的に経済を押し上げるのかもしれないが、このことをポジティブで前向きな考えとして持つて行くのは少し違う気がする。個人的に思う。また同時に逆に酷暑で外出しない（レジャーなどには行かない）など消費が減少する分野も出てきているのも事実である。電気代について言えば決して景気が良くて電気の使用量が増えるのではなく、暑さによる消費でこの分が増える。他の消費を減らさなければならなくなり、これもまたポジティブな消費増とは異なると思う。

今回この私が担当する編集後記では最初に紹介した先輩方の原稿のニュアンスとは異なり「今年の夏も危機的な暑さで、私達の生活をはじめとして関わりのある仕事や作業に大きく影響が出ており、各社作業員の安全を守ることに多大な努力をしなければならぬ状況となっています。組合について言えば三階の大会議室にもエアコンをつけなければならぬ日が来るのも近いと思ひます。」と記しておくことにしたい。

(H・T)

題字 小寺寛一（第二代理事長）

発行所 函館地方電気工事協同組合

編集 いなづま編集委員会

住所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 龍文堂印刷株式会社

あしたの光で “ごこちよい” を創ります。

東芝ライテック株式会社

北海道支店函館営業所

☎ 040-0001 函館市五稜郭町一十四 五稜郭114ビル3階

TEL 五一 一六〇〇二
FAX 五一 一六〇〇二



パナソニック株式会社 エレクトリックフークス社

北海道電材営業部
函館電材出張所

☎ 041-0808 函館市桔梗二丁目三四一 一六

TEL (011) 477-6333
FAX (011) 747-3806



河村電器産業株式会社

北海道支店函館駐在所

☎ 040-0011 函館市本町六一五 協和函館ビル3階

TEL (011) 648-7163
FAX (011) 333-7437

北海道支店 ☎ 003-0006 札幌市白石区東札幌六条二丁目一三〇
札幌三信物流ビル4階
TEL (011) 652-9190
FAX (011) 822-1050



ISHIGAKI
ハイテク電気設備機器と情報通信エンジニアリングサービス

本社 ☎ 060-0006 札幌市中央区北六条西一三丁目一 番地

函館支店 ☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九番地三 一五

八雲営業所 ☎ 049-3104 二海郡八雲町内浦町二三四一 五
☎ (011) 631-3269

未来環境を語る・造る

エミヤエアロパートナーズ株式会社

函館営業所

☎ 041-0824 函館市西桔梗町五八九一四九

電話 四八 一五七五二(代表)
本社 札幌・営業所 釧路、苫小牧、小樽



情報社会をパフォーマンスする

田中商事株式会社

函館営業所

☎ 040-0072 函館市亀田町一三番八号

電話 四〇 一〇八〇〇
本社・東京 営業所・札幌、札幌東、釧路

電設資材総合卸



株式会社 新光照明

☎ 040-0024 函館市高盛町七番一 号

TEL (011) 551-0633
FAX (011) 551-0810